

家庭用

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

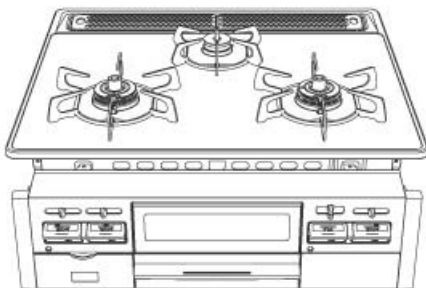
ビルトインコンロ

取扱説明書 保証書付

型番

110-H546型

110-H547型



このたびは、大阪ガスのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

大阪ガス



TX54

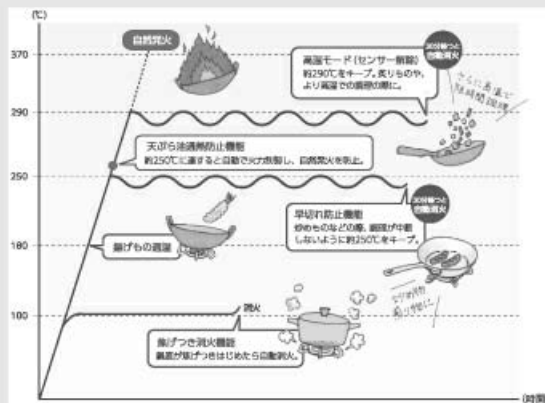
Siセンサーコンロについて

SI 全口センサー搭載
センサーコンロ

安心(Safety)・便利(Support)・笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

- ・ 万一の消し忘れ・・・ ◎未然に防止します！
- ・ 天ぷら油の過熱・・・ ◎自動的に弱火になります！
- ・ なべ底が高温になっても・・・ ◎初期段階で自動消火します！
- ・ 煮ものなどで焦げつき・・・ ◎初期段階で自動消火します！

●温度センサーのはたらき



とくに多いご質問です

点火／消火ボタンを押しても、点火しない
電池交換サインが点滅している

乾電池を確認してください

乾電池が消耗しています。乾電池を交換してください。
乾電池を交換する（電池交換サイン点滅）めやすは約1年です。

隣手に火が小さくなったり、火が消えたりする

Siセンサーの安全機能がはたらいっています

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止しているためです。

センサー解除モード*を使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、勝手に火が消えたりする

すべての安全機能が解除されるわけではありません

温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火することがあるためです。

また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※ センサー解除モードとは

※温度センサーがまったく作動しなくなる機能ではなく、通常時より高い温度まで調理できる機能です。センサー解除モードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりますと、自動的に火力を調節したり、ガスを止め消火したりすることがあります。

※センサー解除モードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

目次

安全にご利用のために

各部のなまえ	3
かんたん操作ガイド	5
必ずお守りください(安全上の注意)	7
周囲の防火措置(機器の設置)	16

毎日の使いかた

乾電池の入れかた	17
安心・安全機能	18
コンロを使う準備	19
コンロの使いかた(基本操作)	21
センサー解除モード(チャオコンロ)	23
タイマーモード(全コンロ)	25
揚げものモード(チャオコンロ)	27
湯わかしモード(標準コンロ)	29
炊飯モード(標準コンロ)	31
グリルを使う準備	35
グリルの使いかた	37
各種設定の変更(カスタマイズ機能)	39

長くご利用いただくために

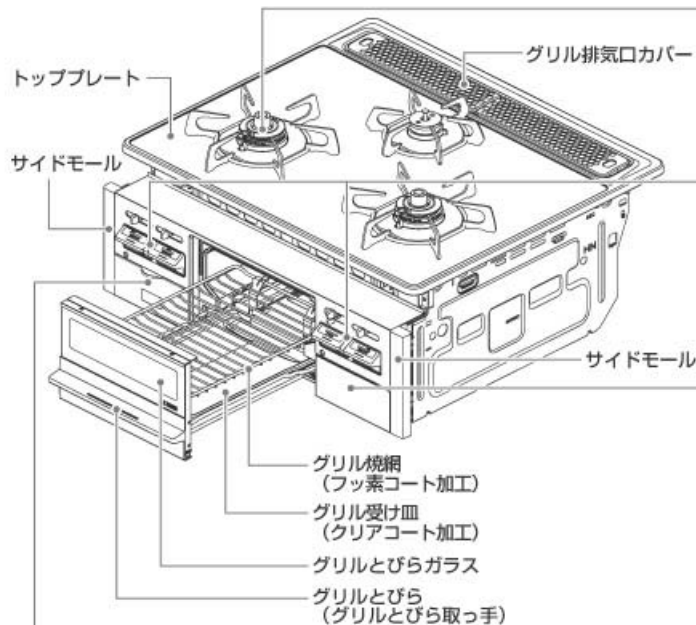
お手入れ	40
よくあるご質問	45
お知らせ表示	51
仕様・アフターサービス	52
交換部品・別売部品	53
保証書	裏表紙

各部のなまえ

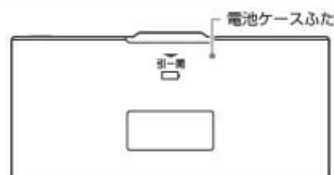
操作部の開けかた



※操作部のパネルやシートなどに保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。
※イラストは、110-H547型(チャオコンロが右タイプ)で説明しています。

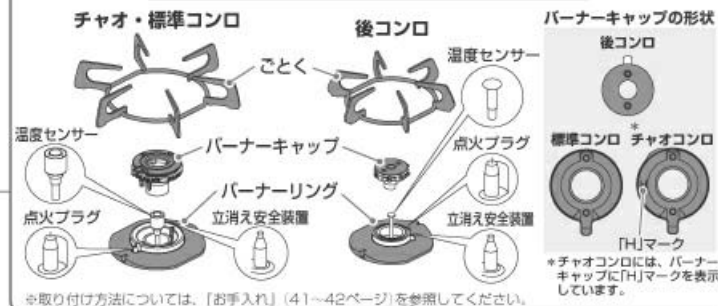


電池収納部



型番	トッププレート(ガラス)	パネル	左コンロ仕様	右コンロ仕様
110-H546型	インディゴブラック	ブラック	チャオコンロ	標準コンロ
110-H547型			標準コンロ	チャオコンロ

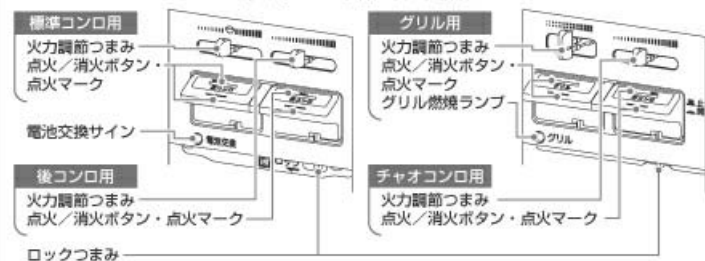
コンロ調理部



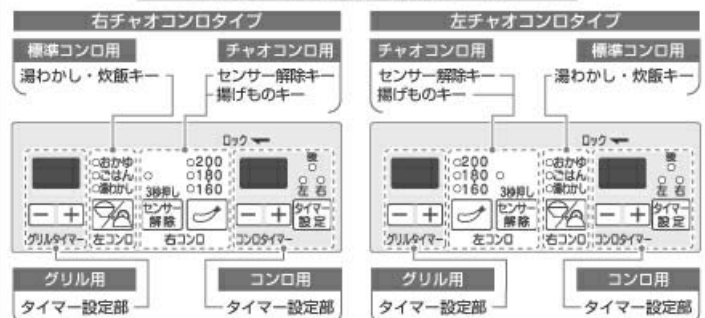
※取り付け方法については、「お手入れ」(41~42ページ)を参照してください。

コンロ・グリル操作部(パネル)

※チャオコンロが右タイプの場合。



コンロ・グリル操作部(シート)



かんたん操作ガイド

・点火/消火ボタンは、止まるまでいっぱいを押す。

※楽々点火方式で、手を離しても連続スパークして自動点火します。

※操作部の開けかたは、1ページを参照してください。

コンロ操作部

【コンロを使う準備 19】

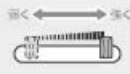
煮る、ゆでる

(全コンロ)

19 21



①点火する



②火力調節する



③調理が終了したら、
点火/消火ボタンを戻す

コンロ操作部

【コンロを使う準備 19】

あぶる、炒める

(チャオコンロ)

19 23



①点火する



②火力調節する



③センサー解除を
設定する



④調理が終了したら、
点火/消火ボタン
を戻す

コンロ操作部

【コンロを使う準備 19】

揚げる、焼く

(チャオコンロ)

19 27



①点火する



②火力調節する



③温度を設定する

コンロ操作部

【コンロを使う準備 19】

お湯をわかす

(標準コンロ)

19 29



①点火する



②火力調節する



③湯わかしを設定する

コンロ操作部

【コンロを使う準備 19】

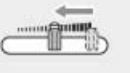
ごはんを炊く

(標準コンロ)

19 33 (下準備 31)



①点火する



②火力調節つまみを
△の位置に合わせる



③炊飯を設定する

グリル操作部

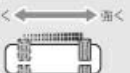
【グリルを使う準備 35】

魚を焼く

19 37



①点火する



②火力調節する



③タイマーを設定する

残り時間表示 例) 9

残り時間表示 例) 9

点火の際は

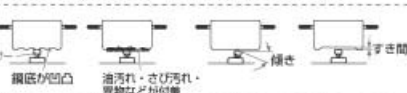
・ごとの中央に鍋を置く。

警告



温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
鍋底に密着しないとときや汚れが付着しているときは、温度センサーが正しくはたらかせません。

・調理油の量に関係なく調理油が
発火し、火災の原因になります。
・焦げつき自動消火機能が正しく
はたらかない場合があります。



お知らせ

自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。
ただし、他のバーナー使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。



調理開始



④調理が終了したら、
点火/消火ボタンを戻す



ふっとう



5分保温



終了2分前



自動消火



ピー



④点火/消火ボタンを
戻す



自動消火
むらし開始

終了2分前

ピー



自動消火

終了2分前

ピー



④点火/消火ボタンを
戻す



グリルタイマー
自動消火

ピー



④点火/消火ボタンを
戻す

必ずお守りください (安全上の注意) ①


安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

危険 ガス漏れの際には

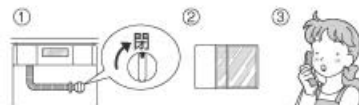
ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺で電話を使用しない
- 火や火花で引火し、火災の原因になります。



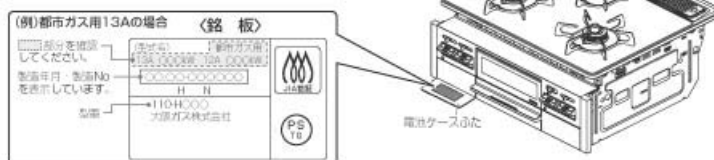
ガス漏れに気づいたときは、下記の手順に従う

- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。



警告 使用するガスについて

- 銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する**
転居されたときも供給ガスの種類が、銘板の表示と一致していることを確認する
表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発・着火によるやけど、機器が故障する原因になります。供給ガスがわからない場合はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。



警告 火災予防のために

機器を設置の際には

- 機器の設置(取り付け、取り外し)・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する**
ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です。
- 機器周囲の改装(吊り戸棚を付けるなど)については、お買い上げの販売店に相談する**
ご自分で改装されると、設置基準上問題になる場合があります。火災の原因になります。
- 機器を設置するときは、可燃性の部分から十分離して設置する**
当該地区の市・町・村の条例で定められています。必ず守ってください。
距離を確保できない場合は、別売の防熱板を取り付ける
防熱板を取り付けなかった場合、火災の原因になります。
・離隔距離については16ページを参照してください。
防熱板の購入は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

機器をご使用の際には

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気などを感じたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記の手順に従う**
- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
 - ② お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。
- 火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 使用後は消火を確認する**
火災や思わぬ事故の原因になります。
※就寝や外出時はガス栓も閉めてください。



必ずお守りください (安全上の注意) ②

警告 火災予防のために

機器をご使用の際には

**火をつけたまま離れない
就寝や外出をしない**
調理中のもので無げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げ物の調理、グリルを使用しているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

トッププレートに衝撃や荷重を加えない、上にのらない
トッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。
※破損したときは、けがの原因にもなりますので、程度的大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



引火のおそれのあるもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)は機器の近くで使用しない
火災の原因になります。

燃えやすいものを機器の近くに置かない
機器の上や周囲に燃えやすいもの(ペットボトル、調理油など)、引火のおそれのあるもの(スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど)を置かないでください。
火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。

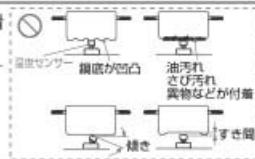


コンロ部をご使用の際には

センサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能が作動せず、消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され、発火や火災の原因になります。

耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理しない
天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が発火し、火災の原因になります。

鍋などがトッププレートからはみ出した状態では使用しない
火災や機器焼損の原因になります。



温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
鍋底に密着しないときや汚れが付着しているときは、温度センサーが正しくはたらきません。
・調理油の量に関係なく調理油が発火し、火災の原因になります。
・焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

アルミはく製の受け、省エネごとくなどの補助具は使わない
一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。



警告 火災予防のために

コンロ部をご使用の際には

コンロをおおうような大きな鉄板や鍋は使わない
火災や不完全燃焼の原因になります。



焼網は使用しない
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。

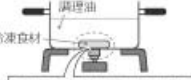


揚げものの調理の際には

揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくにフライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、発火するおそれがあります。



冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げものの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。食材は中央部を避けて置いてください。



複数回使った調理油で揚げものをしない
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にこった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火が起こりやすくなる場合があります。

揚げすぎない
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。

グリル部をご使用の際には

グリル使用前はグリル庫内を点検する
グリル庫内に食品くず、脂くず、布などがあると、使用中に発火し、火災や機器焼損の原因になります。

グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない
たまった脂が発火し、火災や機器焼損の原因になります。



グリル使用後および連続使用するとき、グリル受け皿にたまった脂を取り除く
たまった脂が発火し、火災や機器焼損の原因になります。

脂が多く出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上にたまった脂が発火し、火災や機器焼損の原因になります。
※鶏肉や脂のついたさんまなどは脂が多く出ます。



グリル排気口の上にふきんやタオルなどをのせない
火災や不完全燃焼の原因になります。

点検・お手入れの際には

絶対に改造・分解は行わない
改造・分解をすると一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。また、火災の原因になります。



必ずお守りください (安全上の注意) ③

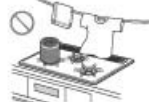
⚠️ 注意 火災予防のために

機器をご使用の際には

使用するバーナーの点火/消火ボタンを確認して操作する
間違えて操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。

点火したときはバーナーが着火したことを確認する
着火していないと、漏れたガスに引火し、火災や一酸化炭素中毒、思わぬ事故の原因になります。

調理以外の用途には使用しない
線炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。過熱・異常燃焼による機器焼損や衣類などが落下して火災の原因になります。



グリル部をご使用の際には

魚などの焼きすぎに注意する
魚などが焦え、グリル排気口から炎が出ることもあり、火災の原因になります。

異なる調理物(焼き上げの早い調理物、遅い調理物)を同時に焼くときは注意する
焦げたり、発火するおそれがあります。

鶏肉やサンマなどの脂の多い食材を焼くと、飛び散った脂に引火して瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があるので注意する
やけどや火災などの原因になります。

グリル使用中、調理物が発火した場合は、下記の手順に従う
① 点火/消火ボタンを押し、消火する。
② 炎が消えるまでグリルとびらを閉めない。
③ 消火後、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。
手順に従わなかった場合は、火災の原因になります。

⚠️ 注意 ガス事故防止のために

機器を設置の際には

冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置していないことを確認する
火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。

機器をご使用の際には

使用中は換気をする
使用中は窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※自然排気式給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。



お手入れの際には

バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る
水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

⚠️ 注意 やけどやけがの予防のために

機器をご使用の際には

使用中や使用直後は操作部以外は触らない
機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、やけどの原因になります。
※グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。また、ビルトインオープンを設置している場合、コンロやグリルを使用していないときもオープンを使用すると、トッププレートや排気口カバーが熱くなります。
1カ所のみコンロを使っている場合でも、使っていないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。

点火操作をしても点火しない場合は、点火/消火ボタンを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火すると、周囲のガスに引火して衣服が燃えるなど、やけどの原因になります。

コンロ使用中は、コンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服が炎に触れないように注意する
やけどや衣服に炎が移ったりするおそれがあります。

点火操作時や使用中はバーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近づけない
グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。
※とくにコンロ調理中は、安心・安全機能が作動し、自動的に「弱火」⇄「強火」と炎の大きさが変化する場合があります。やけどをするおそれがあります。

コンロ部をご使用の際には

やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとみ出した炎によりやかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

片手鍋や底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない
不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。
・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をここのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜる
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆苗(赤みそなど)のときは注意してください。)

突沸現象について

突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器をゆする、塩、砂糖などを入れる)で生じます。直火でこれらを温めるときにも起こることがあります。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。
・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁もの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
・熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

必ずお守りください (安全上の注意) ④

⚠ 注意 やけどやけがの予防のために

グリル部をご使用の際には

- 必ず守る** 使用直後の魚の出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器から取り外さずに行う
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、やけどの原因になります。
- 必ず守る** グリル受け皿を持ち運ぶときは、冷えてから運ぶ
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、やけどの原因になります。また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。
- 禁止** グリル受け皿に水を入れて使用しない
この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水を入れないでください。グリル機能が正しくはたらかなくなったり、調理物が燃えるなどの原因になります。また、お湯がこぼれてやけどの原因にもなります。
- 禁止** グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない
グリル受け皿を持つときは、ぬれぶきんなどで持たない
やけどの原因になります。
- 禁止** グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近づけない
鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする
高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。

お手入れの際には

- 禁止** トッププレートは取り外さない
トッププレートを取り外すと、裏面だけがをずる原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤が付着すると、変色したりキズの原因になります。
- 必ず守る** 機器が十分冷えてから、手袋をして行う
手袋をしなくてもお手入れすると、やけどや機器の突起物などがけがをする原因になります。
- 必ず守る** ごとくは、正しく取り付ける (42ページ)
誤った取り付けかた (浮き、裏返しなど) で使用すると、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。



⚠ 注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際には

- 禁止** トッププレートに直接高温の鍋などをのせない
トッププレートの変色や損傷の原因になります。
- 禁止** ごとくを外して直接コンロに鍋を置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。

⚠ 注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際には

- 禁止** グリルとびら、コンロ・グリル操作部、電池ケースふたなどに、重いものをのせたり強い力を加えない
機器損傷の原因になります。
- 必ず守る** エアコン、扇風機の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用する
温度センサーにより鍋底の温度を検知して火力を制御するため、風があたると温度センサーが正しくはたらかない場合があり、火が途中で消えたり機器損傷の原因になります。
- 禁止** 石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。
- 禁止** グリルとびらを開けたままグリルを使用しない
グリルとびらに魚などをはさみこむなど、グリルとびらが開いた状態では使用しないでください。
機器上部の変色や、ワークトップを焦がしたり、やけどのおそれがあります。

お手入れの際には

- 必ず守る** バーナーキャップは正しく取り付ける (41ページ)
誤った取り付けかた (浮き、裏返しなど) で使用すると、
・点火しない場合があります。点火した場合でも、炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
・機器の中に炎がもくろこんで、焼損する原因になります。
・鍋セットのまま使用すると、機器寿命が短くなるおそれがあります。

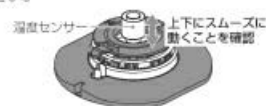


⚠ 注意 お子さまに対する注意

- 禁止** 小さなお子さまだけで使用させない
思わぬ事故の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。(20ページ)

⚠ 注意 温度センサーの正常な動作のために

- 必ず守る** こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
密着しない場合、点検・修理を依頼してください。
- 禁止** 強いショックを加えない
キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。



必ずお守りください (安全上の注意) ⑤

お願い

機器について

- この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- 長期間使用しない場合は・・・
 - ・ガス栓を閉めてください。
 - ・各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
 - ・再使用時は、完全に取り外してください。
 - ・乾電池を電池ケースより抜いてください。
 - ・乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- 機器を廃棄する場合は・・・
 - ・機器を取り替えた場合、乾電池を取り外し、専門の業者に処理を依頼してください。

コンロのご使用について

- 鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)にしてください。とくに片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。
- 弱火のときは炎が見えにくい場合があります。消し忘れに注意してください。
- 調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。火を消さずに作業をすると、やけどの原因になります。
- コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらや、グリルとびらをゆっくり開閉してください。キャビネットとびらや、グリルとびらの開閉により発生した風で、コンロの火が消える場合があります。
- 強火で長時間使用すると、まれに鍋とこごとくがつくことがあります。鍋を動かすときは注意してください。
- 煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。

機器のご使用について

- 使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- トッププレートのごとくを取り付けている場所に、跡が付くことがあります。
- トッププレート上で、鍋などをすべらせたりしないでください。トッププレートや鍋が損傷する原因になります。
- 機器の下にオープンを設置して使用している場合、オープンのとびらを半開きのままで使用しないでください。やけどや過熱による変形などの原因になります。
- トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により、機器が故障する原因になります。

お手入れについて

- 機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしないでください。また、ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用してください。機器内部に水が浸入し、故障の原因になります。

グリルのご使用について

- 連続で使用する場合は一旦火を消し、再度点火してください。グリル庫内が高温になっていると、グリル過熱防止センサー(18ページ)がはたらいて、焼き上がる前に消火する場合があります。
- 魚などの焼き加減を見るときなど、グリル受け皿を約1分以上引き出したままにする場合は、一旦火を消してください。グリル過熱防止センサー(18ページ)がはたらいて、消火する場合があります。
- 冷凍の魚は、しっかりと解凍する。冷蔵の魚は、常温でしばらく置く。しっかりと解凍したり、常温にしておかないと、時間がかり、安全機能がはたらくことがあります。また、焼きあがりがよくない場合や、生焼け状態になる場合があります。

周囲の防火措置 (機器の設置)

■機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

防火上の離隔距離

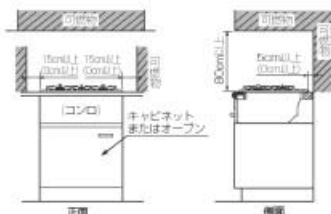
○機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

警告

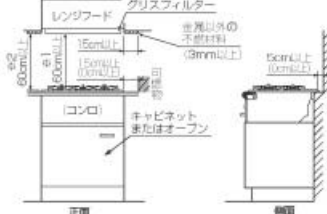
周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていないことを確認する
離隔距離が少なくない、火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)とは、下表(防火性能認定シール)に基づき下記の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



- ※()内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
- ※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
- ※2 不燃材料がない場合は80cm以上。



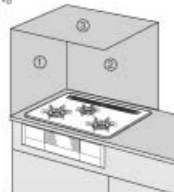
防火性能認定シール(トッププレートに貼付)

○離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

警告

防熱板(別売品)は、必ず指定のものを使用する
防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。



※イラストはイメージです。

部品コード・型番	高さ(mm)	幅(mm)	現金標準価格:税込
① DP 0128	590	535	¥6,090(本体価格 ¥5,800)
② LP 0130	590	600	¥6,090(本体価格 ¥5,800)
③ DP 0129	550	900	¥6,090(本体価格 ¥5,800)

※2011年4月現在の価格です。
価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

乾電池の入れかた

乾電池を交換するときは、必ず機器が冷えてから行ってください。

※乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音「ピー」でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなるので、注意してください。

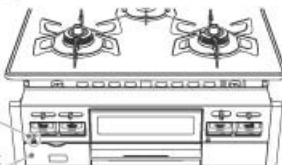
注意



乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

電池交換サイン

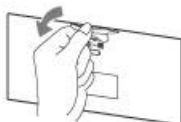
電池ケースふた



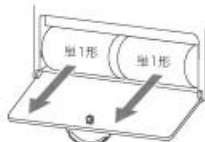
1 電池ケースふたを開ける

○電池ケースふた上部を指でつまみ、ふたを開ける。

※電池ケースふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。ふたが破損する原因になります。

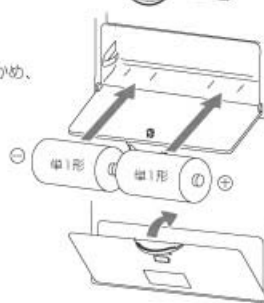


2 古い乾電池を取り出す



3 新しい乾電池を入れる

○新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込む。



4 電池ケースふたを閉じる

お願い

- ・乾電池の挿入方向を間違えないようにしてください。また、新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。寿命が短くなります。
- ・乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなかった場合、電池交換サインは点滅しません。
- ・乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
- ・アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。
- ・アルカリ乾電池(単1形：2個)でも使用状況・使用時間・乾電池製造メーカー・種類が異なると交換時期が1年以内と短くなる場合があります。また、マンガン乾電池を使用した場合も交換時期が極端に短くなります。
- ・未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単1形：2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- ・電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。

安心・安全機能

お知らせ

- ・使用中に自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」にしてください。
- ・戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
- ※お知らせ表示は、51ページを参照してください。

立消え安全装置 コンロ グリル

風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

- ※完全にガスが止まるまで数秒かかります。
- ※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのおいが完全になくなってから点火してください。
- ・立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついたときは、きれいにふき取ってください。
- また、立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。(点火不良、途中消火の原因になります。)



消し忘れ消火機能 コンロ グリル

- コンロ 点火後、約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると自動消火します。
- ※チャオコンロはセンサー解除モード使用時、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると自動消火します。
- ※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更することができます。(39ページ)
- グリル 連続使用可能時間は約15分です。点火後、最長で約15分間連続使用すると自動消火します。

点火/消火ボタン戻し忘れブザー コンロ グリル

- タイマーや濡かしモードなどを使って自動消火したり、安全機能により火が消えたときに、点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。
- ※必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」にしてください。戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
- ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

天ぷら油過熱防止機能 コンロ

- 油温が約250℃になると強火(燐火)を繰り返します。自動火力調節している状態の場合は、約30分後に自動消火します。それ以上に温度が高くなる場合は、約30分を経過する前に自動消火します。
- 後コンロは、約250℃で自動消火します。
- ※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
- ※センサー解除モードを使用している間は、この機能ははたらきません。

警告



チャオコンロのセンサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能が作動せず、消火温度が高くなっているため、調理油が過熱され発火し、火災の原因になります。

注意



天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

焦げつき自動消火機能 コンロ

- 焦げつきや空だきの場合、自動消火します。
- ・焦げつきの程度は、鍋の材質・火力・調理物によって異なります。
- ※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいて自動消火することがあります。
- 再度点火すると正常に作動します。
- ※センサー解除モードを使用している間は、この機能ははたらきません。

グリル過熱防止センサー グリル

グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると自動消火します。

注意



グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

コンロを使う準備

鍋の選びかた

鍋などの種類	煮もの 鍋	炒めもの 揚げものなど ※5 (油の量: 200mL以上)	温調機能		
			揚げもの モード □7-27 (油の量: 500~ 1000mL)	湯わかし モード □7-29 (水の量: 500~ 2000mL)	炊飯 モード □7-31 (ごはん: 1~5合 おがゆ: 0.5~1合)
アルミ製の鍋・文化鍋		○	○	○ ※2	○ ※6のもの
ホーロー・打ち出し・ ステンレス(厚手)の鍋		○	○	○ ※2	○ ※4 ※6のもの
ステンレス (薄手: 鍋底厚み2mm未満)の鍋		○ ※3	×	○ ※2	○ ※3 ※6のもの
無水鍋・多層鍋 (ステンレス厚手鍋)		○ ※1	×	○ ※2	×
鉄製の鍋・ 中華鍋・ フライパン		○	○ ※6	×	×
土鍋・ 圧力鍋・ 耐熱ガラス容器		○ ※1	×	×	×
やかん		—	—	○ ※2	—

○: 適しています。 ×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1: 途中消火したり、焦げつく場合があります。

※2: チャオコンロは、センサー解除モード(23ページ)にすると途中消火せず使用できます。
ただし、焦げつき自動消火機能がはたからないため、焦げつきがきつくなりますので注意してください。

※3: 必ずふたをしてください。

※4: 焦げつきがきつくなります。

※5: ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。

※6: 揚げもの場合の油の量を示します。

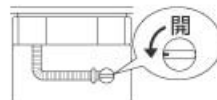
※7: 中華鍋は底の平らな中華鍋を使用してください。

お願い

中華鍋を使うときは、

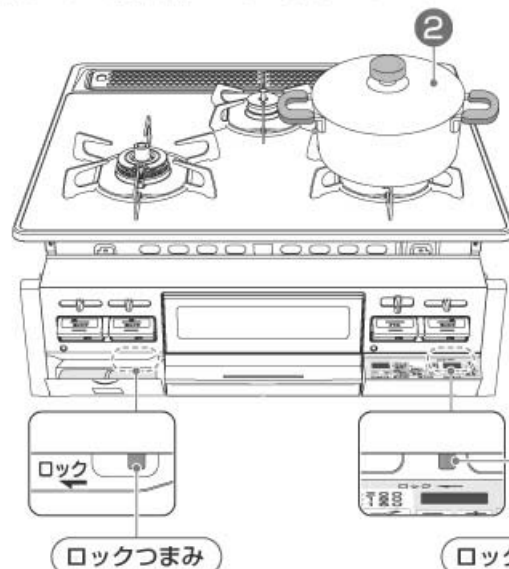
- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

1 ガス栓を全開にする



2 ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。



ロック機能について

小さなお子さまのいたすらや誤作動を防止するために、点火/消火ボタンをロックすることができます。

・電池ケースふたおよび、コンロ・グリル操作部を開け、ロックつまみを動かしてください。

・点火/消火ボタンが「消火の状態」のときにロックつまみを動かすことができます。

※ロックつまみを左にするとロックを設定できます。

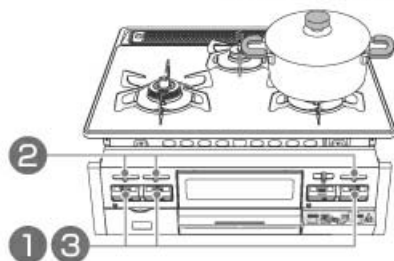
※ロックつまみを右にするとロックを解除できます。



コンロの使いかた (基本操作)

「コンロを使う準備」(19ページ)
をよく読み、準備をする

こごとく中央に鍋などを置く



調理をするときのコツ

・炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。
予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。



・さんぴらごぼろ・インスタント焼きそばなどは、チャオコンロのセンサー解除モードで調理する。(23ページ)
水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

・揚げものはチャオコンロの揚げものモードで調理する。(27ページ)

揚げものモードを使わずに多めの油を加熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。

注意



みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる

強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然沸騰上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)
※突沸現象については、12ページを参照してください。

ご注意

鍋などをこごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トッププレートにキズがつくおそれがあります。

1 点火する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



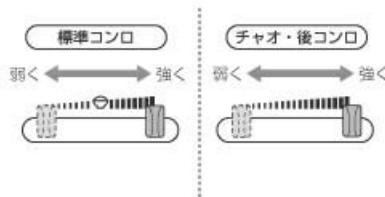
点火マークがオレンジ色に変わります。

※点火マークは点火/消火の操作をするだけで色が変わりますので、必ず火がついたことを確認してください。

※火力調節つまみが弱火側(左側)にある場合、つまみは強火側(右側)に動きます。チャオコンロの場合は安全のため、火力調節つまみが強火側(右側)にある場合、つまみは中火位置(中央)に動き、中火点火します。

2 火力調節する

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



※点火後、約30分毎にブザー音「ビビビッ」で使用であることをお知らせします。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

※必ず火が消えたことを確認してください。

お知らせ

自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ビー」でお知らせします。
ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

お知らせ

約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更することができます。(39ページ)

センサー解除モード (チャオコンロ)

・直火料理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)をする場合などは、センサー解除モードをお使いください。

『コンロを使う準備』(19ページ)をよく読み、準備をする

ことく中央にフライパンなどを置く



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。



1 3

2

センサー解除モードとは

すべての安全機能が解除されるわけではありません

※温度センサーがまったく作動しなくなる機能ではなく、過熱より高い温度まで調理できる機能です。センサー解除モードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、ガスを止め消火したりすることがあります。
※センサー解除モードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

警告



センサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能が作動せず、消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され、発火や火災の原因になります。

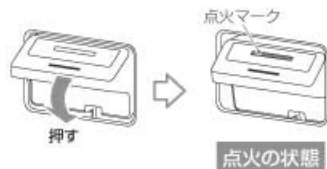
注意



直火料理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き計などが落ちないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き計の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

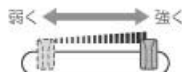
1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(21ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



2 センサー解除を設定する

○センサー解除キーを3秒以上押してください。ブザー音「ビビビッ」でお知らせし、ランプが点灯します。



※再度、センサー解除キーを押すと、ブザー音「ビッ」でお知らせし、ランプが点灯して、センサー解除モードは解除されます。
※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

※必ず火が消えたことを確認してください。
※センサー解除モードの設定も解除されます。

お知らせ

自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ビー」でお知らせします。
ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

お知らせ

約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

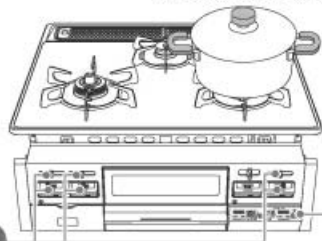
※センサー解除モードを取り消して、さらに使用する場合は、点火してから約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更することができます。(39ページ)

タイマーモード (全コンロ)

➡「コンロを使う準備」(19ページ)
をよく読み、準備をする

ごとき中央に鍋などを置く



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。



1 4

3 2

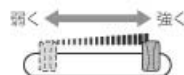
1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(21ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。

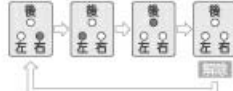


2 コンロを選択する

○コンロを選択します。



○押すたびに、次のように切り替わります。
(全てのコンロを使用している場合で説明しています。)



- ・設定できるコンロは1ヶ所です。
- ・「+」か「-」を押すか、約10秒たつと、タイマー表示が点灯に変わり、コンロが決定されます。
- ・火のついていないコンロと、炊飯・湯わかしモード中のコンロは選択できません。
- ・チャオコンロが左側仕様の場合は、「右」と「左」のランプの点灯順が逆になります。

※調理中(タイマー作動中)でも、タイマー設定キーを押すと、ブザー音「ビッ」でお知らせし、ランプが点灯して、タイマーモードは解除されます。

※設定を解除しても消火しません。

3 タイマー設定する

自動で火が消える

○タイマー設定をします。(タイマーがスタートします。)



1分刻みで1~99分(最長)に設定できます。

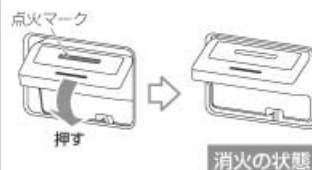
※押し続けると、10分刻みで変わります。
※調理中(タイマー作動中)でも、タイマーの変更は可能です。
※センサー解除モード使用時は最長60分です。



途中で消火したいときは、点火/消火ボタンを「消火の状態」にしてください。(4参照)

4 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

お知らせ

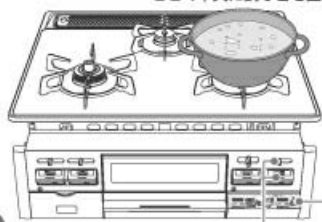
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ビー」でお知らせします。ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

揚げもののモード (チャオコンロ)

「コンロを使う準備」(19ページ)をよく読み、準備をする

適した鍋	適した油の量
直径: 18~24cm 種類: 天ぷら鍋 底の平らな中華鍋 鉄やアルミ製の鍋	500~1000mL

こたく中央に鍋などを置く



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。



1 3

2

揚げもののコツ

・油の飛び散りやすい材料は下ごしらえをする。(水分や空気は、加熱されると膨張して破裂するため。)

ドーナツ

生地には、必ずベークンパウダーや砂糖を入れる。

イカ

皮をむき、両面に切り目を入れる。

ししとう

(中が空洞の野菜など) 切り目を入れる。

エビ

尾は先を切る。

うずら(ゆで卵など)

串などで刺す。

魚介類や野菜など

水分をふき取る。

・複数の揚げものをするとき、低温設定のものから調理する。(温度を下げるのに時間がかかるため。)
・一度に揚げる量は、油の表面積の半分程度にする。

焼きものにも便利

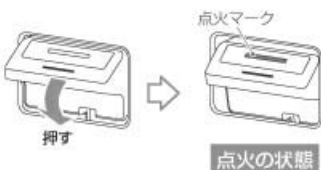
・ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど焦げつきやすい焼きものも、揚げもののモードの温度調節を使えば簡単です。ほどよい焦げ色に焼きあげます。

ご注意

※油の温度は天ぷら用鉄製鍋を基準に設定しています。鍋の種類・材質・大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなる場合があります。
※油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油を足すと、設定温度と油の温度が異なることがあります。
※設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。
※焼きものの焦げの程度はフライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(21ページ)

○火力調節つまみを右にゆっくりとスライドさせてください。



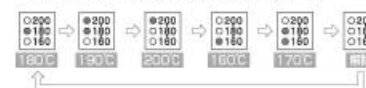
※火力は鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、機能が正しくはたしません。

2 温度設定し、調理する

○着火後すぐに温度設定をします。
※最初は180℃に設定されます。



○押すたびに、次のように切り替わります。(170℃、190℃の設定もできます。)



・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。
・弱火から強火に切り替わる瞬間、炎が大きくなりますので注意してください。
・途中で設定温度を変更する場合は、を押してお好みの温度に合せてください。
※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。
※必ず火が消えたことを確認してください。

温度設定のめやす

	160℃	170℃	180℃	190℃	200℃
揚げもの			手作りロゼット	冷凍食品(コロッケなど)・天ぷら	油揚げ
焼きもの	どりのから揚げ・フライド・どなか				
揚げもの	ドーナツ・フリッター				
焼きもの	ギョーザ・お好み焼き				
焼きもの	ホットケーキ				
焼きもの	オムレツ				
焼きもの	ハンバーグ				

○設定温度になると、ブザー音でお知らせします。調理を始めてください。



ビビビビ

お知らせ

自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

湯わかしモード (標準コンロ)

「コンロを使う準備」(19ページ)
をよく読み、準備をする

適した鍋 種類：やかん 底の平らな鍋	適した水の量 500～2000mL ※やかんや鍋の大き さに合わせた水量に してください。
---------------------------------	--



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。



お願い

- ・火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になります。
- また、お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから弱火になるまで時間を要する場合があります。
- ※やかんや鍋の材質、水量、形状などにより弱火になるタイミングが異なる場合があります。
- ・水量が多すぎるとふきこぼれる場合がありますので、やけどなどに注意してください。

温度センサーが正しくはたらかために次のことを守ってください

- ・やかんや鍋のふたの開閉はしない
- ・途中で水を入れたり具を入れない
- ・やかんや鍋を動かさない
- ・途中で火力を変えない
- ・水をかき混ぜない

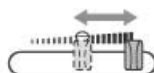
1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(21ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



※火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になります。

2 湯わかし設定する

○着火後すぐに湯わかし設定をします。



○押すたびに、次のように切り替わります。



※設定を解除しても消火しません。

自動で火が消える

3 消火の状態に戻す

○点火／消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

お知らせ

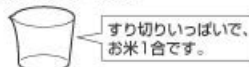
点火／消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。
ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消費が早くなります。

炊飯モード (標準コンロ) 下準備

① お米を正確にはかる

・計量カップやはかりで、炊飯したいお米の量を正しくはかる。

例) 180mLの計量カップ



1回で炊ける量

ごはん	1~5合
炊き込みごはん	1~4合
おかゆ	0.5~1合

② お米をとぐ

・たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。
・一度目のとき水はすぐに流す。

※ぬかを含んだ最初の水を、乾いたお米が吸わないようにしてください。

・「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返す。

※といだあとのお米は、よく水を切ってください。

※お米をとき足りない場合は、においや着色および、ふきこぼれの原因になり、炊飯がうまくできない場合があります。

③ お米に水を含ませる

お米と水の量のめやす

・ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節する。

※増減する水量のめやすは、±10%程度にしてください。

【ごはん】

お米の量	水の量
1.0合 (150g) (180mL)	約300mL
1.5合 (225g) (270mL)	約400mL
2.0合 (300g) (360mL)	約500mL
2.5合 (375g) (450mL)	約600mL
3.0合 (450g) (540mL)	約700mL
3.5合 (525g) (630mL)	約800mL
4.0合 (600g) (720mL)	約900mL
4.5合 (675g) (810mL)	約1000mL
5.0合 (750g) (900mL)	約1100mL

※炊きこみごはんの場合は、ごはんに比べ約1割増の水の量(調味料、だしを含む)とし、具はお米の上にのせて炊いてください。

※炊きあがりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて工夫してお使いください。

【おかゆ】

お米の量	水の量
0.5合 (75g) (90mL)	約700mL
1.0合 (150g) (180mL)	約1000mL

※おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

お米を水に浸す時間

・洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間程度)

※といだあと、すぐに炊飯をするとごはんがかたくなります。

※ごはんには芯が残るので、お湯を使わないでください。

※一度水に浸したお米は砕けやすくなり、砕け米が混じることがあります。

砕け米・粉米などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

・1~2回すすぐ。

※にこったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。

・十分に水に浸す。

・水の量を3%程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。

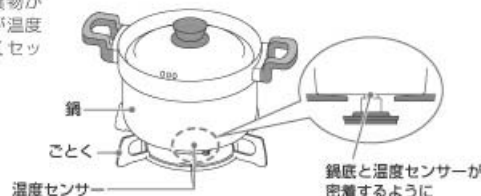
・よく混ぜて気泡をとばす。

※水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

④ 鍋をセットする

・水に浸した状態のお米が入っている鍋を、正しくごとくに置く。

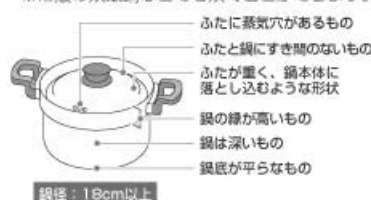
※温度センサーの上面や、鍋底に異物が無いことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。



炊飯モードに適した鍋

・おいしく炊くために、炊飯に適した鍋を選ぶ。

※市販の炊飯鍋などでも炊くことができます。



※ふたに蒸気穴がない場合や、鍋の材質・形状によっては焦げつきや、ふきこぼれなどを起こし、うまく炊けない場合があります。このような場合は、別売の炊飯専用鍋を使用してください。

炊飯専用鍋も別売しています。(53ページ)

※別売の炊飯専用鍋のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

炊飯モードに適した鍋	炊飯モード (ごはん：1~5合 おかゆ：0.5~1合)
炊飯専用鍋(別売)	○ ※1
アルミ製の鍋・文化鍋	○ ※1 深めのもの
ホーロー・打ち出し・ステンレス(厚手)の鍋	○ ※2 深めのもの
ステンレス (薄手・底厚み2mm未満)の鍋	○ ※3 深めのもの
無水鍋・多層鍋 (ステンレス厚手鍋)	×
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器	×

○：適しています。
×：適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)
※1：ごはん：1~3合、おかゆ：0.5~1合まで炊けます。
※2：ホーロー鍋の場合、焦げつき場合があります。
※3：焦げつきがきつくなります。

炊飯モード (標準コンロ)

「コンロを使う準備」(19ページ)
「炊飯モード」(31ページ)
をよく読み、準備をする

ことく中央に鍋を置く



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。



ご注意

- 炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。また、炊飯途中で炊飯モードを切り替えたり、他のキーやボタンを押さないでください。うまく炊けない場合があります。ごはんの場合は、消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないと美味しく炊きあがりません。
- 機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、燃焼不良となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。



おかゆについて

おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。

※ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、下記を参考にしてください。

※味付けは、おかゆが炊きあがり、自動消火してから行ってください。最初から、または炊飯途中で調味料や具を入れると、うまく炊けない場合があります。

ごはんからおかゆの炊きかた

2人分(茶わん約2杯分: 300g)の例

- (1) 冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。(めりめりをとります。)
- (2) 鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ強火で炊く。
- (3) 煮立ったらアクを取り、弱火で10~15分炊く。
- (4) 消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



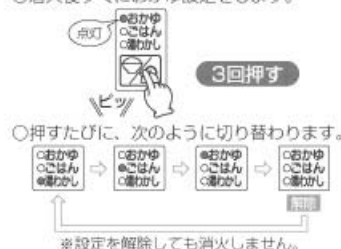
点火マークがオレンジ色に変わります。(21ページ)

2 炊飯設定をする

○着火後すぐにごはん設定をします。



○着火後すぐにおかゆ設定をします。



自動で火が消える

3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

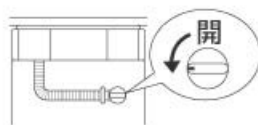
※ごはんの場合は、むらし後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。余分な水分が逃げ、ごはんがおいしくなります。

お知らせ

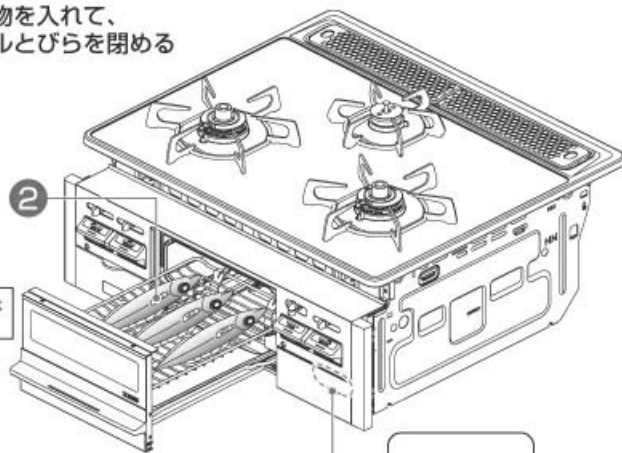
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。戻し忘れのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

グリルを使う準備

1 ガス栓を全開にする



2 調理物を入れて、グリルとびらを閉める



グリル受け皿には
水を入れない

注意



グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で、やけどのおそれがあります。

ロックつまみ

(20ページ)

初めてグリルを使うとき

- ・梱包部材が入っていないか確認してください。
- ・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、グリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火で約8分空焼きしてください。煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。消火した場合(タイマー表示部「02」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

お知らせ

- ・グリル焼網は消耗部品です。ご使用状態や経年変化などにより、魚がくっつきやすくなったり、フッ素コートがはがれる場合があります。交換部品(有料)として準備しております。(53ページ)取り替えの際は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

食材の準備

魚の下ごしらえ

- ・冷凍の魚は、しっかりと解凍する。
- ・冷蔵の魚は、常温でしばらくおく。
- ※しっかりと解凍したり、常温にしておかないと時間がかかり、安全機能がはたらくことがあります。また、焼きあがりがよくない場合や、生焼け状態になる場合があります。
- ・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
- ・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。



魚以外の下ごしらえ

- ・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。
- ・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。



塩焼きの下ごしらえ

材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。

塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。

- ・さばやいわしなど脂肪分の多い青の魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにする。
- ・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにする。
- ・川魚やいか、えび、貝などは、焼く直前に塩をする。



姿焼きなどの場合

- ・尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけてください。また、アルミはくで包んでおくと、焦げかたが薄くなります。
- ・切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくなることができます。



魚を焼くときは

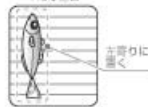
- ・魚は身の厚い部分や、頭を奥にして置いてください。
- ・魚を1尾だけ焼く場合は、左寄りに置いてください。
- ・ししゃもなどの小さな魚は、尾が焦げやすいのでグリル焼網の手前側に置いてください。

厚みのある切身などの場合



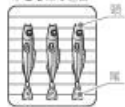
手前側

1尾の場合



手前側

小さな魚の場合



手前側

魚を取るときのコツ

- ・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。



注意



調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらが熱くなっており、やけどの原因になります。

グリルの使いかた

▶『グリルを使う準備』(35ページ)
をよく読み、準備をする



コンロ・グリル操作部(シート)

※右チャオコンロで説明しています。

形くずれを防止するコツ

・2分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。
その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定してください。



詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。

警告

鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、上下の火力を「弱火」にして焼くようにする。グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

注意

焼きすぎに注意する。魚に火がつき火災の原因になります。グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火/消火ボタンを押して消火してください。

ご注意

・連続で使用する場合などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。グリル過熱防止センサーがはたらき、消火した場合(タイマー表示部「02」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。
・脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。
・グリル操作部のタイマーは、グリル専用タイマーのためコンロには使用できません。
・干物や脂分の多い魚(にしん・塩釜など)は発火しやすいので、焼きすぎに注意してください。(調理中はグリル庫内の状態に十分注意してください。)また、小魚の干物(めざし・うるめなど)の焼き時間のめやすは2〜3分です。(グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。)焼きすぎに注意してください。
・焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、火災のおそれや機器焼損の原因になります。

1 点火する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、点火の状態にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。

※火がつくと、グリル燃焼ランプが点灯します。点火マークは点火/消火の操作をするだけで色が変わりますので、必ずグリル燃焼ランプが点灯したことを確認してください。

※下火の火力調節つまみが弱火側(左側)にある場合、つまみは強火側(右側)に動きます。上火の火力調節つまみは動きません。

○グリルが点火すると、自動的にグリルタイマーがスタートします。

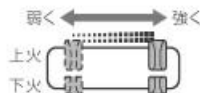


※グリル庫内の温度に応じて、6分〜9分を自動的に設定します。

※グリルタイマーは安全のため、解除できません。

2 火力調節する

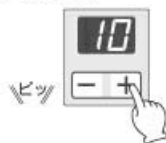
○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



3 タイマー設定する

自動で火が消える

○タイマー設定をします。



1分刻みで1〜15分(最長)に設定できます。

※調理中(タイマー作動中)でも、タイマーの変更は可能です。
※連続使用可能時間は15分です。



途中で消火したいときは、点火/消火ボタンを「消火の状態」にしてください。(4参照)

4 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押して、消火の状態にしてください。



点火マークが消えます。

お知らせ

点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

各種設定の変更 (カスタマイズ機能)

カスタマイズ機能

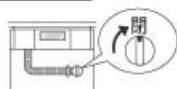
コンロ消し忘れ消火機能の時間設定を変更したいとき

コンロ消し忘れ消火機能の時間を変更できます。

- ・全てのコンロの消し忘れ消火機能時間が変更になります。
- ※初期設定(工場出荷時)は、「120分」に設定されています。

設定時は、必ず機器を使用していない状態で操作してください

1 ガス栓を閉じる。



2 いずれかの点火/消火ボタンを止まるまで
いっばいに押し、点火の状態にする。

- ※スパーク(パチパチ)しますので、ガス栓を閉じても、配管内に残ったガスにより、火がつく場合がありますが、異常ではありません。



3 点火操作後10秒以内に、コンロ・グリル操作部のグリル
タイマー設定キー「+」と「-」を3秒以上同時に押す。

- ※初期設定(工場出荷時)は、「12」(120分)に設定されています。



4 グリルタイマー設定キー「+」・「-」で、設定時間を変更する。

- ※10分単位で設定できます。
- ・押す毎に、ブザー音「ビ」でお知らせします。

+キー：10分ずつ増え、最長「12」(120分)まで設定できます。
-キー：10分ずつ減り、最短「3」(30分)まで設定できます。



※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更した場合、センサー解除時の連続使用可能時間は、下表のようになります。

コンロ消し忘れ 消火機能時間	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分
センサー解除時 連続使用可能時間	30分	40分	50分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分

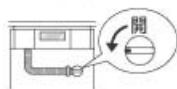
初期設定

5 点火/消火ボタンを押して、消火の状態にする。

- ・ブザー音「ピー」でお知らせし、設定した時間に変更されます。



6 ガス栓を全開にする。



お手入れ (その前に)

- ◎お手入れは、「機器が冷えていることを確認」
- 「ガス栓を開める」
- 「点火/消火ボタンをロックする(20ページ)」
- 「手袋をする」

・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検(有料)をおすすめします。
※定期点検については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

注意



- ・お手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから手袋をはめて行うとくにグリル排気口の中側(奥側)、グリル庫内をお手入れするときは、十分注意するやけどや部品の角などではけがをする原因になります。
- ・お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん・紙類などを置き忘れていないか必ず確認する火災の原因になります。
- ・点火/消火ボタンをロックする
点火/消火ボタンをロックせずにお手入れを行った場合、誤って点火/消火ボタンを押すと、やけどの原因になります。

・各部品がいたんでいないか確認してください。いたんだまま使用されますと、思わぬ事故の原因となります。いたんでいる場合は、53ページの交換部品を参照し、部品を交換してください。詳しくは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

お手入れ道具・洗剤について

	トッププレートのみ				
	スポンジたわし	やわらかい布	やわらかい歯ブラシ	台所用中性洗剤	クリームクレンザー
○	ナイロンたわし	亀の足たわし	金属たわし	スポンジたわし裏面	
×	クレンザー	ミカキ粉	使い歯ブラシ	酸性洗剤・アルカリ性洗剤・漂白剤	シンナー・ベンジン・アルコール
	歯みがき粉	弱酸性洗剤・弱アルカリ性洗剤・クリームクレンザー	重曹		
直接かけて使ってはいけないもの					スプレー式洗剤
絶対に使ってはいけないもの					可燃性スプレー・溶剤・油溶剤

お願い

- ・ご使用の都度、お手入れしてください。汚れたままにすると汚れがこびり付き、落ちにくくなります。煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなり、故障の原因になります。とくに砂糖などを含んだ濃汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- ・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・グリル部品(グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿)は外せます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ (コンロ部)

※右チャオコンロで説明しています。

- ◎お手入れは、「機器が冷えていることを確認」
「ガス栓を閉める」
「点火/消火ボタンをロックする(20ページ)」
「手袋をする」

- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。
- ◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認してください。

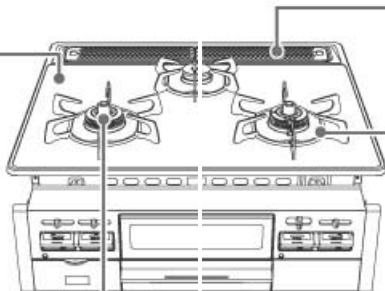
トッププレート

- ・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。



取れにくい汚れのとき

- ・メラミン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザー(表面印刷がうすくなるため、常用はしないでください)をつけてこすり、ふき取ってください。
- ※バーナーリングにクリームクレンザーがかかると、塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因になります。



バーナー部

バーナーキャップ

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
- ・バーナーキャップは、水洗い後よく水気を切ってください。
- ※水分が残ったまま取り付けたら、点火不良や不完全燃焼になります。

目づまりしたときは

- ・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
- こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
- ※目づまりや汚れは、不完全燃焼や点火不良の原因になります。



点火プラグ・立消え安全装置・温度センサー

- ・煮こぼれなどの汚れを乾いた布でふき取ってください。
- ※洗剤などは使用しないでください。



- ※点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーはキズついたり、衝撃をあてられないようにしてください。

注意

- 温度センサーが上下にスムーズに動くことを確認する
- 温度センサーのお手入れはこまめに行う
- 鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
- 密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

取り付けかた

- ・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。
- (点火プラグに衝撃をあてないようにしてください。)

- ※チャオコンロ用は、バーナーキャップに「H」マークを表示しています。

注意



- バーナーキャップは正しく取り付け
- 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、点火しない場合があります。点火した場合でも、炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- ・誤セットのまま使用すると、機器寿命が短くなるおそれがあります。



ごとく・グリル排気口カバー

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのとき

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

煮洗いすると、さらに汚れが落とすやすくなります

- ・水を入れた大きめの鍋に、ごとくやグリル排気口カバーを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
- ・煮洗いしたごとくやグリル排気口カバーを取り出すときは、やけどなどに注意してください。



取り付けかた

グリル排気口カバー

- ・グリル排気口カバーをグリル排気口の枠に合わせて取り付けてください。



ごとく

- ・内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングの欠き部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。



注意



ごとくは正しく取り付け

- 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。
- また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。



- ※ごとくのツメ部がグラグラしていると、鍋などをのせたとき、鍋などの転倒の原因になります。
- (新しいごとくと交換してください。)

機器表面・操作部

- ・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのとき

- ・台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
- ※グリルとびら取手・パネル樹脂部には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。



お手入れ (グリル部)

- ◎お手入れは、「機器が冷えていることを確認」
- 「ガス栓を閉める」
- 「点火/消火ボタンをロックする(20ページ)」
- 「手袋をする」

取り外しかた

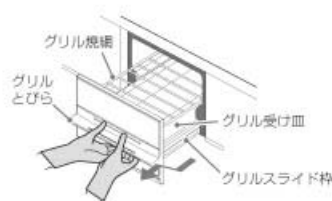
グリル部

- ・グリルとびらを持ち上げずに水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出し、グリルとびらを少し持ち上げて、再度引き出して下さい。(グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと、止まることなくグリルとびらが外れるため、落下する場合があります。)

※グリルとびらを全開近くまで引き出すと、グリルとびら全体が下がりますので、手を離すときは注意してください。

※グリル使用後は、グリルとびらやグリルとびらガラス、グリル受け皿、グリル焼網、グリルスライド枠が熱くなっていますので注意してください。

※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。



グリルとびら

※上下逆さまから見た図で説明しています。

- ・グリルスライド枠(線材)とグリルとびらを固定している止めバネを図の方向(①)に上げ、グリルスライド枠を図の方向(②)に回転させると、取り外せます。



グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・グリルスライド枠・グリル庫内

グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・グリルスライド枠

- ・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※汚れたまま放置したり、使用すると、こびり付いた脂汚れがとれにくくなり、シミが残ったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはがれの原因になったり、脂汚れで発火することがあります。

グリル庫内 (側部・底部)

- ・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジでふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※燃焼部(バーナー)には触らないでください。炎口がつまり燃焼不良、途中消火の原因になります。また、グリル庫内の天井部には、立消え安全装置と点火プラグ、奥の壁部分にはグリル過熱防止センサーが取り付けられているので触らないでください。安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。



- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。
- ◎部品を取り付けたあとは、スムーズに開閉できることを確認してください。

取り付けかた

グリル部

※上下逆さまから見た図で説明しています。

- ・グリルとびらのスリット穴(2カ所)にグリルスライド枠を差し込み(①)、止めバネにそわせ(②)、グリルスライド枠を図の方向(③)に回転させると止めバネで、「カチッ」と音が鳴り取り付けられます。



グリル受け皿

- ・「手前」と表示している方をグリルとびら側にし、図のようにグリルスライド枠の上にのせてください。

※グリルスライド枠の上にグリル受け皿が図のように取り付けられていないと、グリル受け皿が斜めになり、グリルとびらが入りません。



グリル焼網

- ・グリル受け皿の角穴にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込んでください。

※「てまえ」と表示している方をグリルとびら側にしてください。



グリル部

- ・グリルとびらを両手で持ち、グリルスライド枠をグリル庫内底部の左右にある溝に合わせて、グリル庫内に入れたあと、水平にスライドさせ、グリルとびらが完全に閉まるまできっちり入れてください。



※イラストは分かりやすくするためにグリル受け皿なしで記載しています。

グリルとびらが閉まりにくい場合は、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けられていません。そのまま押し込むと、変形の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。

よくあるご質問 ①

とくに多いご質問です

とくに多いご質問内容	ご質問への回答	ご確認していただくページ
点火／消火ボタンを押しても、 点火しない 電池交換サインが点滅している	乾電池が消耗しています。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	17
勝手に火が小さくなったり、 火が消えたりする	安全機能がはたらいて、自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止しているためです。	18
センサー解除をしているのに、 勝手に火が小さくなったり、 火が消えたりする	温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、自動消火することがあります。 また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。	24

ご質問の内容

詳細の
番号

ご質問の回答

ご確認していただく
ページ

点火すると他のバーナーもスパーク(パチパチ)する

1カ所の点火操作ですべてのバーナーがスパークします。
異常ではありません。

—

点火しない

ご質問の詳細

- ① 点火しない
- ② 点火しにくい
- ③ スパークしない
- ④ 点火してもすぐ消える

電池交換サインが点滅していませんか？
乾電池が消耗して、機器を作動させる電圧がなくなったためです。新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。

17

①②③④ バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？

14・41

③④ 点火／消火ボタンを止まるまでいっぱいを押していますか？

21・37

③ アルミはく製する受けを使用していないか？
使用しないでください。

9

①② バーナーの炎口がつかまっていますか？
点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか？

41

③ ガス栓を全開にしていますか？

20・35

①② LPガスがなくなりかけていませんか？
(LPガスをご使用の場合)

—

①② ガス配管に空気が残っていませんか？
(長期間使用してなかったり、朝一番など)点火操作を繰り返してください。

—

①③ ロックを解除していますか？

20

② グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。

—

④ 温度センサーが高温になり、安全機能が作動しています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。

—

ご質問の内容

詳細の
番号

ご質問の回答

ご確認していただく
ページ

炎の状態がおかしい

ご質問の詳細

- ① 炎が安定しない
- ② 炎が黄色い、赤い
- ③ 異常音を立てて燃える、消える
- ④ 炎が均一でない
- ⑤ 使用中炎が消える
- ⑥ 鍋にすすがつく

①②③④⑤ バーナー炎口がつかまっていますか？
点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか？
バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？

41

①②③④⑤ 風が吹き込んでいませんか？
扇風機や冷暖房機器の風があたっていますか？

14・41

②④⑤ アルミはく製する受けを使用していないか？
使用しないでください。

9

②④⑤ 換気をしていますか？

11

②⑤ 火力調節をはやく操作していませんか？
はやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。

—

②⑤ 加温器を使用していますか？
加温器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。ゆっくり操作してください。

—

②⑤ コンロとグリルを同時に使用していませんか？
グリル使用時にコンロを使用すると焼きものの塩分(ナトリウム)やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。

—

②⑤ 火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。

—

⑤ 弱火の状態でもグリルとびらははやく開閉していませんか？
はやく開閉すると消火することがあります。ゆっくり開閉してください。

15

すぐに消火しない

バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。
異常ではありません。

—

強火になったとき、
一瞬炎が大きくなる

バーナー内のガスが一瞬に出されるためです。
異常ではありません。

—

部品が変色する

ご質問の詳細

- ① 表面が変色する
- ② ごとくが変色する
- ③ トッププレートに跡が付く

①② 酸性やアルカリ性洗剤を使用していないか？

40

①② ごとく先端は、炎が当たり白くざらざらになります。
異常ではありません。

—

③ トッププレートのごくを取り付けている場所に、跡が付くことがありますが、ご使用上問題ありません。

15

全
体

全
体

よくあるご質問 ②

ご質問の内容	詳細の番号	ご質問の回答	ご確認くださいページ
点火／消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	・ 通常の点火方式で点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(最長約5秒)異常ではありません。	—
センサー解除をしているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	—	・ 温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火することがあります。 また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。	24
焼網が使えない	—	・ 焼きなすやもちばはグリルで調理してください。グリルに入らない大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺しセンサー解除モードを使用し、コンロ上で直火料理(あぶりもの)してください。	23
コンロ使用時の現象	ご質問の詳細		
	①②	・ 鍋の形状や材質が適していますか？	19
	③④	・ 鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
	⑤	・ 鍋底や温度センサーが汚れていませんか？	
	①③	・ 温度センサーが高温になり、安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。	
	①⑤	・ 焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度がかわります。ホーロー製の鍋や、カレー・シチュー・カラメル・みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどき混ぜながら調理してください。	18
		・ 鍋底が焦げついて消火していませんか？焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	
		・ コンロタイマーが終了していませんか？再度点火してください。	25
		・ 長時間使用していませんか？コンロは、点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	18
	①	・ 弱火の状態でも裏下のキャビネットとびらをはやく閉閉していませんか？また、グリルとびらをはやく開閉していませんか？はやく開閉すると消火することがあります。ゆっくり開閉してください。	15
		・ 冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがあります。その場合、解凍してから調理してください。	—
	④	・ 鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。弱火⇄強火を繰り返す。この状態が約30分続く自動消火します。弱火になると支障のある調理の場合は、センサー解除キーを押すと、高温での調理ができます。	18 23

ご質問の内容	詳細の番号	ご質問の回答	ご確認くださいページ
揚げものモード使用時の現象	ご質問の詳細		
	①	揚げものがうまくできない	
湯わかしモード使用時の現象	ご質問の詳細		
	①	お湯がぬるい	
	②	お知らせが遅い	
	③	ふきこぼれる	
	①	・ 湯の量は適切ですか？油量500～1000mLが適切です。鍋の形状や材質、湯の量によっては湯の温度が設定温度より高めになったり低めになったり場合があります。設定温度を加減してお使いください。	19・27
	①	・ 鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
	①②	・ 湯わかしに適した鍋を使用していますか？	19・29
	③	・ 鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
	③	・ 湯の量は適切ですか？水量500～2000mLが適切です。	19・29
	①②	・ お湯(70℃以上)を湯わかしモードでわかしていますか？お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから弱火になるまで時間を要する場合があります。	
炊飯モードで上手に炊飯ができない	ご質問の詳細		
	②③	・ 加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりしていませんか？	30
	①	・ 火力を弱火にしていますか？火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になります。	
	①	・ 炊飯に適した鍋を使用していますか？	19・32
	①	・ 鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9・32
	①②	・ お米の量や水量を正しく計量していますか？	31
	③④	・ 火力を炊飯位置に正しく調節していますか？火力が炊飯位置より強火側の場合、ごはんがかために、弱火側の場合、やわらかめになります。	33
	①②	・ よく洗米していますか？	31
	④	・ 無洗米を使用していませんか？1～2回洗米し、3%ぐらい塩めに水をいれて、必ずよく洗米してから炊飯してください。	32
	②③	・ 銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。	—
炊飯中にふたを開けてしまった	ご質問の詳細		
	②	・ 炊飯途中にふたを開けていませんか？	31
	②	・ 炊飯したあと、約10分お休みしていますか？	34
	③	・ 炊きたあと、ごはんをかき混ぜていますか？	
	④	・ 炊きこみごはんではありませんか？白米にくらべ焦げやすくなります。	31
	⑤	・ もう一度炊飯モードで炊いてください。水分が少ない状態で再度点火した場合は、やわらかくなる場合や、焦げつきが強くなったり、芯が残る場合があります。(おかゆの場合は、自動では炊けません。様子を見ながら弱火で炊いてください。)	33

よくあるご質問 ③

ご質問の内容	詳細の番号	ご質問の回答	ご確認していただくページ
点火／消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	・楽々点火方式で点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(最長約7秒)異常ではありません。	—
グリル使用時の現象 <small>ご質問の詳細</small> ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラ ④ 煙が出る ⑤ 調理中に消火する	②③④⑤	・グリルとびらは確実に閉まっていますか?	35
	①②	・調理物の置きかたは合っていますか?	36
	③	・調理物にあった火力にしていますか?	—
	②③	・グリル排気口カバーは付いていますか? グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	42
	①	・みそ漬けやかつおの魚を焼くときは、みそやかつおは取ってから焼いていますか?	36
	②	・冷蔵庫から出した冷たいままの魚などを焼いていますか? しっかりと解凍していますか?	15・36
	④	・脂の多い魚などを焼くと煙が多く出るため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。異常ではありません。	38
	④	・初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。グリル内の金属部品に残った加工油を焼き切るためです。グリル焼網を取り出し、約8分空焼きしてください。	35
	④	・グリル網やグリル受け皿が汚れていませんか? 残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。お手入れしてください。	43
	⑤	・グリルタイマーが終了していませんか? 再度点火してください。 ・連続で使用する場合などでグリル庫内が高温になっていませんか? グリル庫内が冷めるまで(約3分)待ってから使用してください。	18・38
グリル使用中に、魚などの脂の「パチパチ・ジュージュ」とはねる音がする	—	・魚などに含まれている水分が油と接触して蒸発する音です。異常ではありません。	—

ご質問の内容	詳細の番号	ご質問の回答	ご確認していただくページ
ガスのにおいがする いやなにおいがする	—	・すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 ・風で火が消えていますか? ・煮こぼれや水滴がついていませんか? ・周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などはありませんか?	7・8・18 9
使用中、消火後に音がする	①	・点火／消火ボタンを戻し忘れていませんか? タイマーや湯わかしモードなどを使って、自動消火したり、安全機能により火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。必ず点火／消火ボタンを「消火の状態」にしてください。戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	—
<small>ご質問の詳細</small> ① 消火後に「ピー」とブザー音がする ② 「ボン」と音がする ③ 「カチッ」と音がする ④ キシミ音がする ⑤ 「シャー」と音がする ⑥ 点火初期に「ポッポッ」と音がする	②	・コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。異常ではありません。	—
	③	・バーナーキャップが正しく取り付けられていないと、音がする場合があります。	41
	③	・火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	—
	④	・点火後や消火後にキシミ音がありますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。異常ではありません。	—
	⑤	・コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	—
	⑥	・機器が冷えている状態で点火するとしばらく音がする場合があります。異常ではありません。機器が温まると音はなくなります。	—
使用時に「ピー」というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	—	・乾電池が消耗しています。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	17
乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	—	・乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単1形:2個)に交換してください。	17

お知らせ表示

	お知らせ			原因	処置方法と 再使用時の注意事項
	ブザー音	ランプ表示例 (例: 右コンロ)	タイマー部 (10回点滅)		
コンロ	「ピー」	—	—	コンロ消し忘れ消火機能が作動したとき 点火/消火ボタンを 戻し忘れたとき	点火/消火ボタンを「消火の状態」に 戻してください。 続けてお使いになるときは、十分換 気をしてから、再度点火してください。
	「ピー」		00	タイマー設定時間が 終了したとき	
	「ピーピー ピーピー」	—	01	点火/消火ボタンを 長く押し続けたとき	
	「ピーピー ピーピー」	—	02	焦げつきや異常高温 になったとき	
グリル	「ピーピー ピーピー」		11	バーナー不着火 (点火に失敗したとき)	点火/消火ボタンを「消火の状態」に 戻してください。 続けてお使いになるときは、十分換 気をしてから、再度点火してください。
	「ピーピー ピーピー」	—	12	バーナー途中消火 (煮こぼれや風などで 消火したとき)	
	「ピー」	—	—	点火/消火ボタンを 戻し忘れたとき	
	「ピー」	—	00	タイマー設定時間が 終了したとき	
乾電池	「ピーピー ピーピー」	—	01	点火/消火ボタンを 長く押し続けたとき	点火/消火ボタンを「消火の状態」に 戻してください。 続けてお使いになるときは、十分換 気をしてから、再度点火してください。
	「ピーピー ピーピー」	—	02	グリル過熱防止センサーが 作動したとき(空焼きした場 合や、焼きすぎた場合)	
	「ピーピー ピーピー」	—	11	バーナー不着火 (点火に失敗したとき)	
	「ピーピー ピーピー」	—	12	バーナー途中消火	
乾電池	「ピー」	—	—	乾電池が消耗してきたとき	乾電池を交換してください。 (17ページ) アルカリ乾電池(単1形: 2個)

上記の処置方法で直らないときや、次のブザー音、表示が出たとき

お知らせ		処置方法
ブザー音	タイマー部(点滅)	
「ピーピー」 (繰り返す) (10秒間)	10 24 30 31 32	
「ピー」 (10秒間)	70 71 72 73	

点検が必要です。
点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し、
お買い上げの販売店または、もよりの大
阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連
絡してください。

お知らせ

自動消火した場合は、必ず点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音「ピー」でお知らせします。
ただし、他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

仕様・アフターサービス

仕 様

品 名		ガスビルトインコンロ
型 番	110-H546型	110-H547型
ト ッ プ プ レ ー ト 仕 様	インディゴブラック(ガラス)	
前 面 パ ネ ル 仕 様	ブラック	
型 式	C3WK3RJTL	C3WK3RJTR
点 火 方 式	連続スパーク点火	
安 心 ・ 安 全 機 能	・ ロック機能	
	・ 立消え安全装置	
	・ 集げつき自動消火機能	
	・ 天ぷら油過熱防止機能	
	・ コンロ消し忘れ消火機能	
付 属 品	・ 取扱説明書・保証書付	
	・ クッキングブック	
	・ お問い合わせ先一覧表	
外 形 寸 法	高さ272mm×幅598mm×奥行492mm(トッププレート幅593mm)	
質 量	20.5kg	

使 用 ガ ス 使 用 ガ ス グ ル ープ			1時間当たりのガス消費量kW				ガス 接続口	
			個別ガス消費量					
			チャオコンロ	標準コンロ	後コンロ	グリル		全点火時 ガス消費量
都 市 ガ ス 用	13	A	4.20 (3.810kcal/h)	2.97 (2.550kcal/h)	1.28 (1.100kcal/h)	2.03 (1.750kcal/h)	9.42 (8.100kcal/h)	Rø1/2 (メネジ)
	12	A	3.90 (3.350kcal/h)	2.79 (2.400kcal/h)	1.20 (1.030kcal/h)	1.90 (1.630kcal/h)	8.78 (7.550kcal/h)	
L P ガ ス 用			4.20 (0.301kg/h)	2.97 (0.213kg/h)	1.28 (0.092kg/h)	2.12 (0.152kg/h)	9.29 (0.666kg/h)	R1/2 (オネジ)

○本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますご了承ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み	
・「よくあるご質問」(45ページ)、「お知らせ表示」(51ページ)を見て、もう一度確認してください。 ・確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでください。お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。 ・この機器は13A(12A)・LPガスでのみ作動します。他のガス種には調整・改造できません。	1. 品 名 ガスビルトインコンロ 2. 大阪ガス型番 電池ケースふた裏面に貼付の銘板をご覧ください。 3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく) 4. ご住所・お名前・電話番号・通称(できるだけ詳しく)
転居される場合	
ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。 ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。 ・この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。	
保証書	
取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。 ・保証書に記載されているように燃焼の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。 ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。	
補修用性能部品の保有期間	
・この製品の補修用性能部品(機能を維持するための必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後8年間です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。	

交換部品・別売部品

交換部品（お客さまにて取り替え可能な部品）

・下記の部品(有料)は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名 称	形 状	現金標準価格：税込	部品コード・型番
ごとく(大) (チャオ・標準コンロ用)		¥1,785 (本体価格 ¥1,700)	1110H5470950
ごとく(小) (後コンロ用)		¥1,680 (本体価格 ¥1,600)	1110H5470951
バーナーキャップ(大) (チャオコンロ用)		¥1,890 (本体価格 ¥1,800)	1110H5470955
バーナーキャップ(大) (標準コンロ用)		¥1,890 (本体価格 ¥1,800)	1110H5470956
バーナーキャップ(小) (後コンロ用)		¥1,050 (本体価格 ¥1,000)	1110H8010151
グリル排気口カバー		¥ 788 (本体価格 ¥ 750)	1110H7510954
グリル焼網		¥2,625 (本体価格 ¥2,500)	1110H4200034
グリル受け皿		¥2,100 (本体価格 ¥2,000)	1110H5470958

2011年4月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。乾電池は電気店などでお買い求めください。

イラストは参考です。詳しくは「各部のなまえ」(3～4ページ)を参照してください。

別売部品

・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

名 称	形 状	現金標準価格：税込	部品コード・型番
炊飯専用鍋(3合)		¥3,990 (本体価格 ¥3,800)	111-H002型

2011年4月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。